

絵本の紹介

～3歳未満児クラスおすすめ～



<あいぐみ>

『ころころまるちゃん みつけた』 作・絵:LaZOO 出版社:教育画劇

まあるいぼうやのまんまるちゃんは、ころりころりと転がって今日もかくれんぼ。汽車に乗ったり、雨粒になってカエルと遊んだり、キリンのようにかくれんぼもします。絵本に丸い穴があいていて、子どもたちは穴あきの部分に指を入れたり、めくることを楽しんだりしています。また保育者の膝で「どこどこ？」と大人が指を指して語りかけながらみると、絵を見ながらキラキラした目をして嬉しそうな表情をしています。そしてみているうちにだんだんまるちゃんとお友だちになった気持ちになります。ぜひおうちの人と一緒に、まるちゃんがどこにいるのかみつけてみてくださいね。



<うみぐみ>

『だるまさんが』 さく：かがくい ひろし 出版社:ブロンズ新社
子どもたちが大好きな「だるまさんシリーズ」

その中でも特にうみ組さんは「だるまさんが」が大好きです!!

丸くて赤いだるまさんが、伸びたり縮んだり転んだり、、、

その動きを真似したり言葉を繰り返したりしながら楽しんでいます!!

何度も繰り返し読んでいるうちに、内容を覚え自分たちで楽しめるようになりました。

大人も子どもたちと一緒に楽しめる1冊です!!

だるまさんが
かがくい ひろし/さく



<はなぐみ>

『おばけとおでかけ』 作:新井洋行 出版社:くもん社

この絵本は子どもたちが触れたり一緒にセリフを言ったりしながら楽しめる絵本となっていて、はな組の子どもたちがみんな大好きな絵本です。登場キャラクターが「ぼくをこすってみて」などという場面があり、子どもたちは「きゅっきゅ！」と絵本に触れることでまるで自分が絵を動かしているかのような感覚を楽しんでいます。

また、おばけがロケットに変身して発射する場面では「10、9、8…」と一緒にカウントダウンをして次の展開に期待を抱きながら絵本の世界に夢中になる姿が見られます。

